

小学部、イベント、英語 オンライン授業参観

中華人民共和国・香港日本人学校 香港校（大埔校との交流を含む）

1 前提

学校環境

- » 2020年4月27日よりZoomとGoogle Classroom、ロイロノートによるオンラインでの学習を開始。
- » 当初は休校期間中の学習として始めたが、学校再開後も対面での活動が禁止され、対話的な学びを行うことは難しく、児童が互いの意見を交換し学び合うためにZoomを活用した。
- » Wi-Fiが整備されたことやオンラインで学習できるシステムが構築されたことにより、休校期間中は各教室からオンライン学習を行ったり、学校が再開した際は様々な制限がある中で種々の活動を行ったりすることができている。

課題と目標

グローバルクラスでは例年、ポスターセッション形式で保護者を学校に招き、日々の学習成果を発表していた。しかし今年度は、コロナ禍の影響で例年の教育活動が出来なくなったため、オンライン（Zoom）を使い、その学習成果を披露することとした。

2 実践の内容

活用したICTツール

ハード

- Chromebook

ソフト

- Googleスライド
- Zoom

具体的な活用方法

<目的>

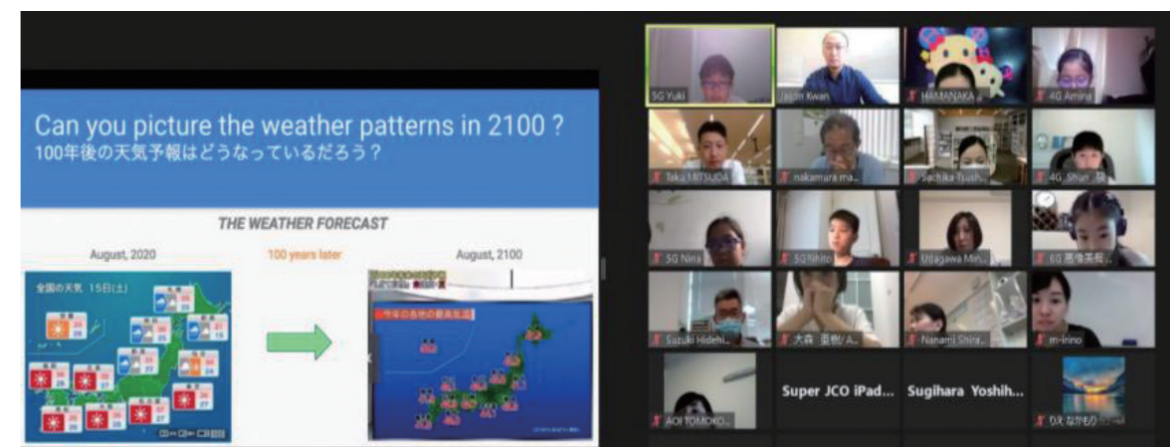
- » 発表会は香港日本人学校グローバルクラスの児童が、同じグローバルクラスの児童・教師に向けて、夏休みを使って個々に研究した学習を発表する機会とする。
- » プレゼンテーションを通して得た他者からのフィードバックや自己の振り返りを活かし、リサーチスキル、プレゼンテーションスキル、英語力の向上を目的とする。

<授業準備>

- » 1人1台Chromebookを使って、発表用の情報収集や資料の作成を行った。
- » 事前に教師のサポートのもと、Zoomでの発表練習等を行ってIT機器の使い方を児童に学ばせた。
- » Googleスライドの使い方、プレゼンテーションの仕方を児童に学ばせた。

<活動の様子>

- » 児童たちは多くのIT機器を駆使しながら、プレゼンテーションの準備や発表を行ったことにより、様々な環境においても人と人がつながってコミュニケーション活動ができることを学ぶことが出来た。



» セキュリティ面での課題

多くの方に参観してもらったが、関係者かどうかを把握することが難しい場面が見られた。

3 成果

ICTツールを活用したことでできるようになったこと

- » 大埔校の児童や職員も参加することが出来たので、グローバルクラスの授業の内容を知ってもらう場にもなった。
- » 香港校グローバルクラスの授業様子を知り、児童自身が取り組む学習の参考となった。（大埔校の振り返りより）

児童生徒、教師、保護者の反応

<報告書より抜粋>

- » 「コロナウイルス防疫措置により、大人数が集まったの集会は行えないが、オンライン会議システムを使うことにより、伝えたい内容を一緒に共有することができ、今後の見通しについて前向きに思える児童が増えていた。」
- » 「例年、必ず対面で行っていたが、Zoomを活用することで、仕事をされている保護者や児童本人と学校の3か所を結んで面談ができ、保護者にとっては時間を有効に利用できて助かったという感想が多かった。」